

まえがき

教育改革が急激に進められ、学校教育の課題が山積するなか、全国連合小学校長会は、よりよい小学校教育の充実・発展のため、組織の総力を挙げて真摯な研究と実績を重ね、その成果を上げてきた。この間、平成十八年十二月には六十年ぶりに教育基本法が改正され、同法に基づく学校教育法等の改正により義務教育の目標が定められ、新たな職の設置、学校評価、教員免許更新制度の導入等、様々な角度から教育改革が推進されている。

このような教育の大きな流れをしっかりと受け止め、学校を預かるものとしての自覚と責任、学校経営の基本と原則を生かし、魅力ある教育課程の編成・実施・評価など、マネジメントシステムの確立、よい教師を育てるための経営、子供の姿で成果を示す社会的な責任の遂行など、不易と流行を見極めながら、学校経営の改善・充実を図っていくことが求められている。

本会では、平成二十年度から、研究主題を「新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」と改めた。そして、改正された教育基本法の下、学校の責任者である校長の学校経営能力の向上と新たな学校教育の構想を構築し、展望と計画をもって学校教育の振興を図り、教育への信頼を確立していこうとしている。

こうした趣旨を踏まえ、新しい学習指導要領の「生きる力」をはぐくむ基本理念の実現に向

け、全国に先駆けて先進的な研究を重ねている四十七都道府県の教育研究実践校を紹介し、ここに『平成二十・二十一年度 全国特色ある研究校便覧』を刊行する運びとなった。掲載された研究校は、「生きる力」の育成を目指し、実践的研究を推進し、成果を上げてきている。また、特色ある学校として、研究にかかわる情報提供・参観等に応ずることができている学校である。

子供たちが二十一世紀に大きくはばたくための学校経営の一助として、本書が有効活用され、先進的な研究・実践の推進に役立つことを期待するものである。

おわりに、本書の作成に当たって、多大なるご協力をいただいた各都道府県小学校長会、とりわけ執筆に当たられた当該小学校長、さらには編集に当たった本会の広報部長、シリーズ等編集委員会の方々に深く感謝の意を表する次第である。

平成二十年四月

全国連合小学校長会長

池田芳和